

## ① 長与町公共施設等総合管理計画で示された整備方針の達成状況について

- (1) 簡易判定結果を基に「更新検討」と位置付けられた施設については、今後「改修」「更新」「他の施設への集約化・複合化」により施設の機能を維持しながらも総量縮減を検討するとされている、計画書作成時に、各施設の今後の対応として、対応を検討していく、今後の在り方について検討していく、改修か更新かの検討をしていく必要がある、大規模改修を検討する時期である、などの整備方針が示されているが、その検討する、としたことについての進捗状況を伺う。
- (2) 長与町新図書館基本構想においては、建設予定地の土地利用として、「町の中心部であることから将来、敷地の一部に何らかの町施設を建設する計画になった場合を考慮する必要がある」と示されている、現図書館の跡地利用も含めて、本計画と合わせて検討する必要があると考えるが、何らかの検討は行っているのか伺う。

## ② 本町の人口動態について

人口動態調査に基づく転出超過を意味する社会減少数で全国の町村でワースト1位の結果となったことについて、その実態、要因、対策などについて質問する。

- (1) ここ数年の転出、転入の動向と今回の結果の実態及び要因を伺う。
- (2) 転出人口のうち、借家に居住する人と、持ち家に居住する人ではどちらの方が多いのかその実態を伺う。
- (3) 長崎広域連携中枢都市圏において、誰もが「住みたい、住み続けたい、訪れたい」と思える魅力ある都市圏の形成を目指す、として様々な施策を展開しながら32年度末圏域人口49万4千人を目指しているが、達成見込みと、圏域人口目標の内本町の目標は何人を設定しているのか伺う。
- (4) 人口減少問題に対応するため、「長与町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、示されている具体的な施策・事業については、第9次総合計画で示されている主な取組と重複するものと理解している、毎年行っている事務事業評価と、施策評価で総合計画の評価としているとのことで、29年度は42施策の内1つを除いてほぼ達成できているとのことであった、取組むべき対応はできたが、結果が伴わないこの現状をどう評価するか伺う。